

東北大学大学院情報科学研究科

シンポジウム開催支援経費 (1) 学際的研究プロジェクト支援経費 実績報告書	
タイトル	マルティレベル・ガバナンスと公益
(2) 主催者	日本公益学会、東北大学大学院情報科学研究科
期 日	平成18年7月15日～平成18年7月16日
会 場	東北大学情報科学研究科棟
出席者数（講師・パネリスト等を除く）	70名
講師・パネリスト等の氏名・勤務先等	芦立秀朗（京都産業大学法学部専任講師） オー・スク・ヤン（高麗大学EU研究センター研究教授） ガブリエル・アーベルス（ビーレフェルト大学社会学部准教授） 松田憲忠（北九州大学助教授） 白鳥浩（法政大学社会学部助教授） 東郷育子（金沢工業大学国際学研究所助教授） 足立研幾（金沢大学法学部助教授） 原山優子（東北大学大学院工学研究科教授）
(3) 目 的	日本公益学会の年次大会と同時に、公益の実現をめぐるマルティレベル・ガバナンスについて、国際シンポジウムを開催することが目的であった。
(4) 内 容	公益をもたらす公共サービスの提供主体は、もっぱら公共セクターに限定されることとするこれまでの考え方に対して、営利、非営利の民間セクターもまた、公共サービスの提供主体であり、3セクターの協働・連携による「公民パートナーシップ」（PPP）への転換を、国際的視点から比較考察を行った。
(5) 情報科学研究科 にとっての意 義・貢献度	情報科学研究科との共同開催とすることによって、本研究科が学際的な研究を推進していくセンター的な役割を果たしていることを、全国的なレベルで周知することができた点で大いに意義のあるシンポジウムであり、また、本研究科に取っての貢献度も大いに合った。さらに、この国際シンポジウムで提出されたペーパーは、本研究科ジャーナルの特集号に掲載される。

注 (1) 「シンポジウム開催支援経費」「学際的研究プロジェクト支援経費」より、該当する項目を記載してください。

(2) 当学術企画実施の代表者もしくは責任者及び協力者名を全員記載してください。

(3) 当学術企画を実施した目的を簡潔に記載してください。

(4) 実施された当学術企画の内容を簡潔に記載してください。

(5) 大学院情報科学研究科に対する当学術企画の意義や貢献度を簡潔に記載してください。